

# シリーズ「下肢静脈瘤」③

## ぼくぼく血管注意報!!

国立病院機構和歌山病院

看護師 石井雅枝

「下肢静脈瘤」という病気を耳にしたことがあります。

「静脈瘤が起こりやすいのは、美容師や調理師など長時間の立ち仕事をしているひとです。遺伝(体質)や妊娠、出産などの影響もあると考えられています。女性に発症し易く、患者さんの男女比は1対3ともいわれ、軽いものも含めると日本人女性の約4割に下肢静脈瘤がみられるという報告もあります。」

「静脈瘤が起こりやすいのは、美容師や調理師など長時間の立ち仕事をしているひとです。遺伝(体質)や妊娠、出産などの影響もあると考えられています。女性に発症し易く、患者さんの男女比は1対3ともいわれ、軽いものも含めると日本人女性の約4割に下肢静脈瘤がみられるという報告もあります。」

「弾性ストッキング」を着用する圧迫療法があります。静脈瘤そのものは治りませんが、症状の改善に効果があります。注射で「硬化剤」を静脈に注入し血管をかためてしまいう硬化療法、弁不全のある静脈をひきぬく方法(ストリッピング術)や逆流のある血管をくくる手術(高位結紮術)などがあります。2011年より保険適応となった「血管内レーザー治療」は弁不全のある太腿の静脈にレーザーファイバーを挿入し、静脈の内側からレーザーを照射して静脈を焼いて塞ぎます。傷痕が小さく、出血や手術後の痛みも少なく、再発

率も低いことから今後は血管内レーザー治療が下肢静脈瘤の標準的な治療になるとみられます。当院ではすべての治療を行っています。

最後は、下肢静脈瘤は自然には治らない病気で放っておくと徐々に悪化していきます。しかし、基本的には良性の病気なので治療しなくても健康を大きく損なうことはありません。治療を行うかどうかは見た目、皮膚に炎症(皮膚炎)がある場合、年齢、職業、生活習慣、本人の希望など考慮して決められるのが一般的です。症状がなくなっても、静脈瘤が気になっても、スカートがはけないなど困っている場合は治療を受けるとよいでしょう。

「下肢静脈瘤」という病気を耳にしたことがあります。静脈瘤が起こりやすいのは、美容師や調理師など長時間の立ち仕事をしているひとです。遺伝(体質)や妊娠、出産などの影響もあると考えられています。女性に発症し易く、患者さんの男女比は1対3ともいわれ、軽いものも含めると日本人女性の約4割に下肢静脈瘤がみられるという報告もあります。」

最後は、下肢静脈瘤は自然には治らない病気で放っておくと徐々に悪化していきます。しかし、基本的には良性の病気なので治療しなくても健康を大きく損なうことはありません。治療を行うかどうかは見た目、皮膚に炎症(皮膚炎)がある場合、年齢、職業、生活習慣、本人の希望など考慮して決められるのが一般的です。症状がなくなっても、静脈瘤が気になっても、静脈瘤が気になっても、スカートがはけないなど困っている場合は治療を受けるとよいでしょう。